

世界はレムを必要としている
——スタニスワフ・レム・コレクション第Ⅱ期刊行にあたって——

沼野充義

レムの生誕100周年に当たる年に、スタニスワフ・レム・コレクション第Ⅱ期（全6巻+別巻1）の刊行を開始できることになった。本国ポーランドでは国をあげて、様々な記念行事が行われている。レムは2006年に84歳で亡くなったが、彼の残した膨大な作品群は謎と魅力に満ち、少しも古びることなく、私たちの新たな読解を待っている。

コレクション第Ⅱ期には、知られざる初期の短篇や詩から最晩年の未訳の長篇まで、多くの本邦初訳作品が収録される。さらに、『インヴィンシブル』（旧邦題『砂漠の惑星』）、『電腦の歌』（旧邦題『宇宙創世記ロボットの旅』）など、既によく知られている代表作も、ポーランド語からの新訳によってその本当の姿を見せることになるだろう。

レムの予言的で先駆的な作品の数々は、世界が危機に見舞われている現代においてこそ読まれるべきものだ。不思議なことだが、レムは没後も後熟を続け、ますます存在感を強めている。現代の世界はレムを必要としているのだ。

- 第Ⅰ期【全6巻】
- ソラリス 沼野充義=訳 2640円 978-4-336-04501-0
- 大失敗 久山宏一=訳 3080円 978-4-336-04502-7
- 天の声・枯草熱 沼野充義・深見弾・吉上昭三=訳 3080円 978-4-336-04503-4
- 主の変容病院・挑発 関口時正=訳 3080円 978-4-336-04504-1
- 短篇ベスト10 沼野充義・関口時正・久山宏一・芝田文乃=訳 2640円 978-4-336-04505-8
- 高い城・文学エッセイ 沼野充義・巽孝之・芝田文乃・加藤有子・井上暁子=訳 3080円 978-4-336-04506-5
- 虚数 長谷見一雄・沼野充義・西成彦=訳 2640円 978-4-336-03593-6
- 完全な真空 沼野充義・工藤幸雄・長谷見一雄=訳 2200円 978-4-336-02470-1
- 第1回記念本『インヴィンシブル』 2021年9月刊
四六判変型／上製カバー／平均400頁
予価平均2640円
装幀：水戸部功
- 国書刊行会 〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15
TEL.03-5970-7421 FAX.03-5970-7427
<https://www.kokusho.co.jp> info@kokusho.co.jp
*価格は10%税込表記です。

Dzieła wybrane Stanisława Lema スタニスワフ・レム コレクション

第Ⅱ期

全6巻+別巻1



スタニスワフ・レム生誕100周年／国書刊行会創立50周年
記念出版

国書刊行会

人間と地球外存在との遭遇をテーマに世界のSFの新たな地平を切り拓いたポーランドの作家スタニスワフ・レム。サイバネティックス、量子力学から、進化論や言語学などの最先端の理論をふまえて構想され、SFのみならず、現代文学のあり方を模索しながら数々の傑作を世に問うてきた作家の代表作を集成し、その全貌に迫るファン待望の作品集。



Stanisław Lem in 1995. Photo: Weronika Wójcik, courtesy of the Institute of Mathematics and Cryptology, from Wikipedia Commons

人間というものは、見かけによらず、
自分で目的を創り出したりはしないんだ。
目的は、人間が生まれた時代によって押し付けられるものさ。

——「ソラリス」より——

Człowiek z Marsa 本邦初訳

火星からの來訪者

—知られざるレム初期作品集

【収録作品】

火星からの來訪者 Człowiek z Marsa 芝田文乃=訳
ラインハルト作戦 Operation Reinhardt 木原槙子=訳
異質 Obcy 木原槙子=訳
ヒロシマの男 Człowiek z Hiroshimy 沼野充義=訳
ドクトル・チニエツキの当直 Dyżur doktora Trzynieckiego 木原槙子=訳
青春詩篇 Wiersze młodzieńcze 沼野充義=訳

幻のSF処女作「火星からの來訪者」を始めとして、「ヒロシマの男」ほか、第二次世界大戦前後の国内外を舞台とした非SF現代小説、そして若き日に書いた抒情詩など、作家としてのデビュー作とされる「金星応答なし」以前の1940年代後半に発表された、知られざる初期レムの姿を示す作品集。日本オリジナル編集。

978-4-336-07131-6

Obóz Magellana 本邦初訳

マゼラン雲

後藤正子=訳

32世紀の地球。高度な科学技術的発展を成し遂げ、繁栄する人類は、ついに史上初の太陽系外有人探査計画に着手、宇宙航海を夢見る青年医師は、巨大探査船ゲア号の一員となり、遙かなる未知の空間へと踏み出して行く——旧邦題『イカリエーXB1』原作。

978-4-336-07132-3

Słedztwo/Pamiętnik znaleziony w wannie 新訳

捜査／浴槽で発見された手記

【収録作品】

捜査 Śledztwo 久山宏一=訳
浴槽で発見された手記 Pamiętnik znaleziony w wannie 大野典宏=訳

冬のロンドンで続発する死体消失事件。スコットランド・ヤードが捜査を開始するが、事件は次第に奇怪さと不穏さを増してゆき……(「捜査」)。地球上のあらゆる紙がウイルスによって分解され、文明の記録が消え去ってしまうから200年後、遺跡の浴槽で一冊の手記が発見される(「浴槽で発見された手記」)。ミステリーの体裁をとった不条理小説ともいべき2つの異色作。

978-4-336-07133-0

Niezwyćiężony 新訳

インヴィンシブル

関口時正=訳

着陸後に消息を絶ったコンドル号捜索のため琴座の惑星レギスIIIに降り立ったインヴィンシブル号が発見したのは、廃墟と化した《都市》と、砂漠にめり込んでそり立つ変わりはてた姿のコンドル号であった。『エデン』『ソラリス』からなるファースト・コンタクト三部作の傑作の原典からの新訳。旧邦題『砂漠の惑星』。

978-4-336-07134-7 2420円

Cyberiada ★は本邦初訳、◆は新訳

電腦の歌

沼野充義=訳

【収録作品】

七つの旅 Siedem wypraw Trurla i Klapaucjusza ◆
世界はいかに無傷で残ったか Jak ocalał świat ◆
トルルルの機械 Maszyna Trurla ◆
大いなる殴打 Wielkie lanie ◆
ゲニアロン王の3つの物語る機械のおとぎ話 Bajka o trzech maszynach opowiadających króla Genialon ★
ツィフランニョの教育 Edukacja Cyfrania ★

諧謔と風刺、パロディ、言語遊び、文明論的批評などに満ちた愉快な作品集『宇宙創世記ロボットの旅』。邦訳版刊行後に書き継がれた作品を精選増補した本巻によって、連作の全体像を初めて示す。全能のロボット宇宙建造師トルルルとクラバウツィスは、中世の騎士のごとく宇宙を闕から隅まで旅し、行く先々での見聞を記録してゆく。旧邦題『宇宙創世記ロボットの旅』。

978-4-336-07135-4

【別巻】

Takie rzesze Lem (Lem with Stanisław Bereś)

本邦初訳

レムかく語りき

(聞き手スタニスワフ・ベレシ)

沼野充義=監訳

西野常夫・後藤正子・木原槙子=訳

生い立ちから創作過程、文学觀、政治情勢から文明論、人類の未来など、あらゆるテーマについて縦横無尽に語るレム。文芸批評家のスタニスワフ・ベレシ(ヴロツワフ大学教授)が聞き手となって行った連続インタビューをまとめた、レムの創作過程と思想を知るために決定的に重要な一冊。

978-4-336-07137-8

スタニスワフ・レム

1921年、旧ポーランド領ルブダ(現在ウクライナ領リヴィウ)に生まれる。クラクフのヤギェロン大学で医学を学び、在学中から雑誌に詩や小説を発表し始める。地球外生命体とのコンタクトを描いた三大長篇『エデン』『ソラリス』『インヴィンシブル』のほか、『金星応答なし』『泰平ヨンの航星日記』『宇宙創世記ロボットの旅』など、多くのSF作品を発表し、SF作家として高い評価を得る。同時に、サイバネティックスをテーマとした『対話』や、人類の科学技術の未来を論じた『技術大全』、自然科学の理論を適用した経験論的文学論『偶然の哲学』といった理論的大著を発表し、70年には現代SFの全2冊の研究書『SFと未来学』を完成。70年代以降は『完全な真空』『虚数』『挑発』といったメタフィクション的な作品や文学評論のほか、『泰平ヨンの未来学会議』『泰平ヨンの現場検証』『大敗』などを発表。小説から離れた最晩年も、独自の視点から科学・文明を分析する批評で健筆をふるい、中欧の小都市から始めた意外に出ることなく人類と宇宙の未来を考察し続ける「クラクフの賢人」として知られた。2006年に死去。

Stanisław Lem